

「家がいいね」 第43号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2007.12.14

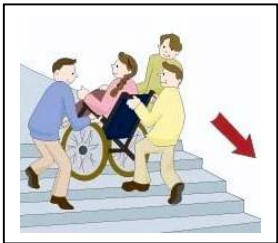
愛 燦燦(さんさん) ♪

雨 漕々(さんさん)と「この身に落ちて
わずかばかりの運の悪さを 恨んだりして
人は哀しい 哀しいものです
それでも過去達は 優しく睫毛(まつげ)に翳っ
人生って 不思議なものですな ♪

美空ひばりさんが愛唱したこの歌は小椋佳さんが46歳の時の作詞作曲です。彼の人生も不思議です。楽譜は読めず、楽器も使えないながら、次々と曲を作り続け、50歳までは銀行員が本業だったのです。57歳で胃癌を体験し、今は63歳。自ら唄うこの歌も味わいが増しました。語りかけるように、そして「あなたも、そうなんです」と聴き留める響きが、実に嬉しいものですね。

「世話焼き」と「見守り」の違い

私の学生時代のこと。あえて一人暮らしをしている脳性マヒの友人の言葉を想い出す。「私が車イスで外出する時に、手助けをしてくれるのはありがたいけど、先に付き添いに、どうしましようと思いのね。困っている私本人には、なかなか声をかけてくれないんだな」



障害を持つゆえに精神的自立を強く意識する彼女だからこそ、見抜く違いがあった。可哀想な「障害者」だからと「保護者」に先に意向を聞く世間の常識は、当事者を無視するに等しいと教えてくれた。

介護で思うに、「世話焼き」と「見守り」は似ているようで、内容は全く別物だ。当事者の気持ちに真っ直ぐに向かい合って、何をしたらいいか(時には何もしない事も必要)と考える事が「見守り」であり、援助する側に温かい忍耐が求められる。「世話焼き」は、そうされる受け手に強い忍耐を求めるものになりやすく、一方で世話焼き側にはその事も意識されない所が問題であると思う。

在宅ケアの自主上映会+懇談会

伊勢市での「一人暮らし・二人暮らし」の基盤はどうなっているのか、考えて見ましょ。

日時 平成20年1月27日(日)

伊勢市生涯学習センター「いせトピア」ホール

当日入場料 千円(前売り700円)

上映会「終わりよければすべてよし」

第1回 14時～16時10分

第2回 18時～20時10分

在宅ケア懇談会「地域で最期まで暮らしには」

第1回 16時10分～17時

第2回 20時10分～21時

このための実行委員会

1月17日(木) 19時～20時

いせトピア2階 第2学習室 で開きます

準備運営から出来る形で、ご参加ください。

チケットは、当クリニックでも扱います。

インフルエンザ予防接種をしています

例年よりも早く流行が始まり、県下では北勢から南下しつつあります。インフルエンザは高熱と咳で体力を奪います。高齢(この場合65歳以上)の方には自治体助成もありますので、予防接種をお勧めします。感染はヒトからヒト、咳を飛ばさないようなエチケットも考えましょ。

年末年始のお休みですが、

12月28日(金) までは平常どおり

29日(土) 1月3日(木) 休診

新年1月4日(金) からは平常どおり

この間も訪問患者さんへは24時間対応です



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>